

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 37-007

PDCA	事務事業名	汚水整備事業	部課等名	水道部下水道課汚水担当	担当	加藤	
					内線等	481	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第3節 生活環境の向上 基本施策： 2. 汚水処理 単位施策： (1) 公共下水道 個別施策： ①施設の整備と維持管理					
	根拠法令等	下水道法					
	対象・目的	老朽化した管渠等の布設替えを行うことにより、不明水を減らし維持管理費の低減を図る。 下水供用開始区域内の未接続世帯に対し、早期接続を促すことにより、使用料収入の増収に併せて生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	旧区画整理地区などにおける老朽管の布設替え等を実施し、施設の機能維持を図る。 新築など新規の下水道接続需要に応えるため、開発行為に適切に対処するとともに、遅滞なく供用開始区域内において公共汚水ます設置工事を実施する。 未接続世帯や集合住宅所有者等に対し、直接訪問による接続依頼を実施する。また、市内全小学校を対象とした出前講座や下水道PR動画を製作する等、下水道の普及促進に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①汚水管布設替工事	614	280	422	m	
		②公共汚水ます設置工事	382	354	356	か所	
		③戸別訪問件数	772	670	1,153	件	
		事業費	410,363	195,297	121,662	千円	
		人件費	18,140	15,607	16,348	千円	
		総事業費	428,503	210,904	138,010	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①公共汚水ます設置1か所あたりコスト	176	193	205	千円/か所		
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①公共汚水ます設置か所数	実績値	-	354.0	356.0	か所
			目標値	-	430.0	430.0	
		②老朽管改築更新延長	実績値	-	280.0	422.0	m
			目標値	-	280.0	410.0	
③下水道接続率		実績値	82.4	83.8	85.0	%	
		目標値	82.5	83.5	85.3		
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		C					
		公共汚水ますの設置については、設置申請件数が見込みを下回り目標を達成できなかった。一方、供用開始区域における整備については、老朽管渠の布設替えを計画通り実施することができたが、不明水低減へ結果が出ておらず、早急にその解決に取り組むことが重要課題である。また、普及促進のため、これまでの未接続世帯への戸別訪問に加え、新たに集合住宅所有者への接続訪問を行ったほか、マンホールカードやPRビデオの製作など、新規の啓発活動にも取り組んだ。ただし、接続率については目標値を達成することができなかったことから、未接続世帯の取り込みが喫緊の課題である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 市街化区域内の住居系地域の汚水整備については、平成28年度整備をもって概ね完了した。今後は、供用開始区域内における新築など、新規の下水道接続需要に応える必要がある。このため、汚水管の新設、公共汚水ますの設置を継続していくほか、既存汚水施設の老朽化対策を一環とした不明水対策や耐震対策の順次事業内容をシフトしていく。また、人口減少や節水型水洗面具の普及により、今後、下水道使用料の大幅な増加については見込まれない状況であるため、職員による戸別訪問など、積極的な普及活動を展開することにより、接続率向上に努めていく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①老朽管改築更新延長	673		m		
		②接続率（前年度未接続率85.0+過去3年間の接続率増加平均（(1.1+1.4+1.2)/3）+努力目標0.1	86.3		%		